

見直しませんか、わが家の防災対策

～ 第八回 避難所と非常持ち出し ～

愛岐ケ丘自治会
愛岐ケ丘防災士会

被災によって日常生活が困難となっても、家屋が安全で当面の備蓄が有れば自宅に留まる、いわゆる在宅避難が可能です。これは、避難所の負担を減らすばかりではなく、より日常に近い避難生活を送る上でも好ましいものです。

しかしながら、それらが難しい場合や希望される場合は避難所への避難となります。今回は、その避難所と非常持ち出しについて紹介したいと思います。

避難所

1. 避難所の開設

可児市が開設する避難所には、台風や大雨の時に開設する**指定避難所**（第一次避難所）の他、地震等の大きな災害の発生時に開設する**第二次避難所**や**福祉避難所**(避難行動要支援者向け)などがあります。愛岐ケ丘の避難所は、原則として次の2か所となっています。

帷子(かたびら)地区センター 帷子小学校北方の高台にある指定避難所です。避難情報が発令された時は、必ず開設されます。



南帷子小学校 震度5強以上の地震などが発生した時に開設されます。愛岐ケ丘に居住・滞在の方はこちらへ避難して下さい。



*避難所の開設は、防災無線や「すぐメール可児」などで広報されます。

2. 地震で避難

震度6弱以上の地震が発生した時は、家族や身の回りの安全を確認した後、直ちに、自治会が定めている“災害時の行動マニュアル”に従って避難行動を始めて下さい。

- ▶ ブレーカーは落として、通電火災に注意
- ▶ ガス・水道の元栓も閉めて
- ▶ 戸締りをして、空き巣に注意（車、物置にも鍵を）
- ▶ 「大丈夫カード」の掲示
- ▶ 避難弱者をいたわり、助け合って避難
- ▶ 靴は、履き慣れたスニーカーなどで滑りにくい物を
- ▶ 頭と手の防護（ヘルメットや防災頭巾と軍手）
- ▶ 非常持ち出し品はリュックに入れ、なるべく両手は空けて（懐中電灯は、頭に付けられる物がベター）
- ▶ リュックは、家族に一つではなく、家族みんなが一つづつ。



3. 避難所生活

避難所は、不特定多数の人が同じ空間で寝起きするという、誰もが初めて経験する共同生活の場です。このリーフレットでは細かな事に触れませんが、避難所では互いの気配りや思いやりが大切です。避難所では自治が生まれ、細かなルールが決められます。少しでも気持ちよく、健康な避難生活を送れるよう決め事をしっかり守って皆で支え合い、協力し合いましょう。身勝手な行動は厳禁です。



* ペットの避難

避難所屋内スペースへのペットの同伴は禁止されます。避難所の屋外で、リードやケージ等を使用することになります。日頃から、犬、猫などのペット用の予備食料や避難先での飼育用具の備えをお願いします。

一口メモ

可児市のホームページには、『避難所運営マニュアル指針』などの詳しい資料が掲載されています。インターネットが使える方は御一読されることをお勧めします。

避難所運営
マニュアル指針(可児市)



避難所について
(可児市)



災害時ペット救護
マニュアル(可児市)



非常持ち出し

第一回のリーフレットでは備蓄について紹介しました。被災直後の非常持ち出しは、身軽に避難できるように、これらの中から必要最小限の物を厳選しておきましょう。



■ 家族用の例

スマートフォン(携帯電話)、モバイルバッテリー、ラジオ(イヤホン)、予備の乾電池、充電器、貴重品、現金、医薬品(胃腸薬、風邪薬、傷薬など)、体温計、衛生用品(手指消毒用、練歯磨き、濡れティッシュなど)、乳幼児用品、介護用品、ラップ、健康保険証(コピー)、ペット用品

■ 家族一人ひとりの例

飲料水、非常食、食器、マスク、携帯カップ、タオル、防寒用具、懐中電灯、常用薬、歯ブラシ、携帯ティッシュ、(スマートフォン(携帯電話))

一口メモ

ラジオの電波状況が良くない場合に備えて、スマホに、無料のNHKラジオアプリ「らじる★らじる」を入れておくと良いでしょう。

全国のNHKラジオ放送がスマホで聞けます。

* 「らじる★らじる」のデータ使用量の目安は、30~40MB/1時間です。

* 「らじる★らじる」に限らず、災害時はデータの用量制限が実質的に解除されることがあります。詳しくは、ご契約の携帯電話会社にご確認下さい。



Android



iPhone

NHK ラジオ「らじる★らじる」